

令和元年度事業報告

広陵町社会福祉協議会（社協）では、令和元年度の基本方針に基づき、各方面における福祉事業等を実施いたしました。経理区分ごとにご報告いたします。

【社会福祉事業】

I 総合福祉会館拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

理事会・評議員会の開催ほか、広陵町社会福祉協議会の円滑な運営に努めています。

また、財源確保のため社協会員を募集し、56名にご賛同いただき、会費収入として263,000円（現金）を頂戴しました。

2. 地域福祉事業サービス区分

(1) 日赤募金事業

赤十字奉仕団への支援のほか、各種団体等の行事開催にあたり、日赤奈良県支部に対して付添看護師や講師の派遣要請を行いました（付添看護師3件、講師派遣2件）。

また、住宅火災に際して、火災見舞金、布団や毛布・日用品をお届けしております（火災見舞金2件）。

災害用として、スコップや一輪車など必要なものを購入し備えました。

(2) 生活福祉資金貸付事業

県社協が実施主体となっていく事業で、貸付の手続き、助言等を行っています。50件の相談があり、3件の貸付がありました。

(3) 基金預託事業

皆さまの温かいご理解をいただき、1件、100,000円のご寄付をいただきました（満中陰志等）。

(4) 給食サービス

ボランティアもくせいグループの協力により、中央公民館において、ちらし寿司や幕の内弁当など、季節にちなんだ献立を調理していただき、民生委員・児童委員の方々により、地域のひとり暮らし高齢者宅へ毎月2回（12月は1回）、昼食の配食とともに安否確認をしていただきました（年間1,253食 令和2年3月2回目の配食数は61食）。

(5) 家庭看護用品貸出事業（無償）

長期臥床にある高齢者等を対象に、ベッド3台、車いす52台、歩行器3台の貸出を行いました。

(6) 日常生活自立支援事業

奈良県社会福祉協議会（県社協）が実施主体となつて行う事業で、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用援助における援助・助言、必要な手続きの援助、日常的な金銭の管理等を行う事業です（令和元年度末現在、利用者6名）。

(7) 福祉団体・ボランティアの活動支援

地域福祉の推進に大きな役割をもつ、福祉団体・ボランティアの自発的・積極的な活動を支援しています。

令和元年度末現在、社協登録ボランティアとして、個人登録10名、団体登録として31団体（583名）に登録いただいております。

9月にはボランティア団体交流会を開催し、各代表者と意見交換を行いました。

また、ボランティア活動内容を紹介するパンフレットを作成し、各公共施設に設置させていただきました。ボランティアパネル展は2回開催し、地域住民に情報発信させていただきました。

(8) 福祉車両貸出事業

車いすを使用しての通院等を支援するため、車いすに乗ったまま乗降できる福祉車両の貸出を行いました（9件）。

(9) パークゴルフ用具の貸出

パークゴルフ・トレーニングコース（古寺）を利用された方に、クラブ及びボールの貸出を行いました（令和元年度2件）。

(10) 地域福祉活動計画に基づく事業

平成31年度から5か年計画期間で町と互いに地域福祉推進の両輪となるよう、インターネットでの情報発信、ボランティアセンターの機能強化、ボランティアの育成、地域福祉委員の充実、自主財源の確保、コミュニティーソーシャルワーカーの配置等に力を入れてきました。

一般寄付として、7件1,023,340円（現金）のご寄付をいただきましたので、地域福祉事業に使わせていただきました。

3. 町受託事業サービス区分

(1) 手話通訳者派遣事業

通院等で手話通訳が必要な方に、手話通訳者の派遣を行いました（105件）。

(2) 手話奉仕員養成講座

入門編（全23回・9名修了）を開催いたしました。

(3) 老人福祉センター委託事業

町からの委託事業として、さわやかホール3階の老人福祉センター（利用者数30,952人）とグリーンドーム（利用者数1,047人）の管理運営業務を行いました。

(4) 会館管理補助業務

町からの委託事業として、さわやかホール（利用者数46,211人）の会館管理業務を行いました。

(5) 生活支援体制整備事業

住民の皆さんが住み慣れた地域で元気でいきいきと心豊かに暮らし続けられるよう、住民の皆さん、行政、社協との共同で、生活支援など支え合うなかまづくり、地域づくりを目指しています。

【7月】フォローアップ勉強会

前年度の振り返りと第2層発足のためのワークショップ開催

【9月】第2層協議体会議（第1回）

第2層協議体「広陵ささえ愛」発足と第1層協議体メンバー選出

【11月】第2層協議体会議（第2回）

第1層協議体発足

【1月】第1回広陵ささえ愛勉強会

講演会を開催

4. 共同募金事業サービス区分

(1) 歳末慰問事業の実施

奈良県共同募金会より配分金をいただき、歳末慰問事業として、生活保護世帯（103世帯）に1世帯あたりお米5kgと、要保護児童世帯及び準要保護児童世帯（165世帯）に図書カードを贈りました。

(2) 歳末社協イベントの開催

年末には、中学生以下の子どもとそのご家族（67名22世帯）に参加いただき、広陵町民生委員・児童委員の協力のもとさわやかホールで餅つき大会を開催いたしました。

また、ボランティアに協力をいただき、親子でゲームを楽しまれたり、

ニュースポーツ体験をされました。

(3) 「ふれあい・いきいきサロン」運営の支援

地域住民が自主的に運営し、高齢者、障がい者、子育て中の親子などが地域で孤立することなく、地域住民との交流や仲間づくり、社会参加ができる場である「ふれあい・いきいきサロン」の運営を支援するため、活動費の助成を行っています。

9月には交流会をひらき、各地区の代表が参加され、ニュースポーツ体験や町外サロンの紹介をさせていただき情報交換をされました。

令和元年度末現在、23地区で運営されております。

(4) ひとり親家庭 親子ふれあい交流事業の開催

母子・父子家庭における親子のふれあいを目的として夏休みに開催し、京都方面に行きました。7世帯18名と引率者として民生児童委員2名及び母子寡婦福祉会役員2名、また、母子寡婦福祉会の夏休み激励会と合同開催したため会員5名の参加がありました。

(5) 地域福祉委員の設置

小地域における福祉の問題や要望を発見し、民生委員と連携しながら地域住民とともに「福祉のまちづくり」を進めていく推進役として6地区16名の地域福祉委員を設置しています。

5. 福祉資金貸付事業サービス区分

低所得の方に対する一時的な生活資金として、12か月以内の返済を条件に、5万円を上限として無利子での貸付を行いました(5件)。